

体育科(保健)学習指導略案

6年2組 28名 指導者 田中めぐみ
岡留真吾

本授業では、以下の検証を行うものである。
 たばこの害についてブレインストーミングを行うことで、たばこの有害性について、これまでに習得している知識を生かし実感を伴って理解することができたか。

1 単元 病気の予防

2 指導計画 (総時数8時間)

過程	主な学習活動【評価規準】
一次 (本時)	1 病気の種類や原因について、自分の経験を振り返りながら、課題を見つける。 【態：身の回りで起こる病気に関心を持ち、適切な対策を考えようとしている。】 2・3 喫煙が健康へ及ぼす影響について理解し、からだに害のあるものを使うことに誘われたときの断り方を話し合う。 【知：たばこの害を理解し、喫煙に誘われたときの断り方が分かる。】 【思・判：自分の経験や情報を生かして、喫煙は絶対にしないという意識を高めることができる。】
二次	4・5 生活習慣が関係する病気の予防について調べる。 【態：生活習慣が病気の原因になることに関心を持ち、調査や資料を通して課題を解決しようとしている。】 【知：生活習慣病の予防には、食事、運動、休養、睡眠が関係していることが分かる。】 6・7 病原体がもとになって起こる病気の予防について調べる。 【知：病原体がもとになって起こる病気の感染経路を理解し、予防方法が分かる。】
三次	8 地域では、病気を予防するために様々な活動が行われていることを知り、これまで学習した病気の原因や予防方法をまとめる。 【態：様々な病気の予防について学習したことを、自分の生活に当てはめて実践しようとしている。】

3 本時 (2 / 8)

(1) 目標

たばこの害についてブレインストーミングで意見を発表し合い、たばこの煙には有害な物質が多く含まれていることを理解できるようにする。

(2) 評価規準

○ たばこの煙には有害な物質が多く含まれていることを理解することができる。【知識・理解】

(3) 指導に当たって

導入では、非喫煙者と比べた喫煙者のがん死亡率の資料を提示し、たばこの害の大きさに気付かせる。そして、たばこの害について関心を高めることで、めあてを焦点化できるようにする。また、たばこの害について多くの考えを引き出すための方法として、ブレインストーミングを行うことを紹介し、そのよさや留意点を説明して、子どもの活動意欲を高めるようにする。

展開では、まずたばこの害についてのブレインストーミングを行い、グループ毎に肯定的な雰囲気の中で、できるだけ多くの意見を発表し合うことができるようにする。次にブレインストーミングで出された意見を、これまでに習得しているたばこの害についての知識を生かして分類し、小見出しを付けるなどして整理したり、説明したりすることで理解が深まるようにする。さらに、たばこの害についての写真や映像を視聴することで、ブレインストーミングで出された意見を、より自分自身のこととして受け入れることができるようにする。

終末では、本時の学習を通して学んだことをまとめ、たばこの主な有害物質である一酸化炭素やタール、ニコチンが、脳や肺、血管、心臓に悪い影響を及ぼすことを理解できるようにする。そして、喫煙は絶対にしないという意識も高めることができるようにしていきたい。

本時では、養護教諭がその専門性を生かしてT1となり、子どもたちと学校生活を共にしている担任と連携しながら課題を追究していくことで、健康についての知識・理解を一層深めると共に子どもたちの言語活動を充実させ、コミュニケーション能力を高めることができるようにする。



時	主な学習活動と教師の手立て・評価	
(分) ↑ 5 ↓	1 病気の原因となる生活習慣について、前時の学習を想起する。 [・早寝・早起き・朝ご飯は病気の予防につながるね。 ・たばこを吸わないことは大切だよ。] 2 本時の学習のめあてを確認する。 [たばこはどうしてからだに悪いのだろうか。] 3 学習の進め方を確認する。 [・たばこの害について、ブレインストーミングでたくさんの意見を出したいな。 ・友達の考えも知りたいな。]	本時の学習を主体的に進めていくことができるように、病気を予防するためにはいろいろな生活習慣の中でも、たばこを吸わないことが大切であることを資料をもとに知らせる。 ブレインストーミングの4つの留意点について説明する。 ○ 批判やコメントはしない。 ○ できるだけ多くの考えを出す。 ○ 友達の考えを参考にする。 ○ 合っているか合っていないかは関係ない。
↑ 35 ↓	4 グループでたばこの害についてブレインストーミングを行う。 [・がんになりやすいよ。 ・受動喫煙という言葉聞いたことがある。 ・ニコチンやタールが含まれているよ。 ・やめられなくなるんじゃないかな。 ・火事の原因になるよ。] 5 各グループで、出された意見を集約し、発表できるように話し合う。 [・タールとがんは関係があるんじゃないかな。 ・3つの意見にまとめることができそうだ。 ・他のグループに分かりやすく伝えよう。] 6 各グループでまとめたたばこの害について、紹介し合う。 [・友達の発表の中に自分たちのグループでは気が付いていないことがあったぞ。 ・たばこは害ばかりだ。] 7 たばこの害についてVTRを視聴する。 [・たばこの煙にはニコチンやタール、一酸化炭素が含まれている。 ・絶対にたばこを吸わないぞ。]	たばこの害について、友達の考えや意見から連想したり、発展させたりして、できるだけ多くの内容を表すことができるよう、助言する。 これまでに習得しているたばこの害について具体的な理解を深めるために、グループで出された内容をまとめ、友達に説明できるように確認をする。 ※ 自分の考えを表したり、友達の発表を聞いたたりして、たばこの害について理解を深めることができる。(観察) ○ 理解が深まった子どもには、賞賛し、喫煙は絶対にしないという意識を高めることができるようにする。 ○ 理解が深まらない子どもには、VTRを視聴することによって、明確に確認できるようにする。
↑ 5 ↓	8 本時の学習をまとめる。 [たばこの煙にはニコチン、タール、一酸化炭素など多くの有害物質が含まれていて、心身の健康に悪い影響を及ぼす。]	たばこの害についてより深刻に考えることができるように、写真や映像を見せる。また、本時の学習を振り返り、喫煙は健康を損なう原因になることから、喫煙しないという判断を高め、今後の生活に生かすことができるようにする。